

三条北ロータリークラブ週報

例会日 2012. 2. 28 累計 No.1212 当年 No.32



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30

例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114

事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内

TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488

HP: <http://www.sanjo-nrc.org> AD: north@sanjo-nrc.org

発行:三条北ロータリークラブ 会報委員会

国際ロータリー会長:カルヤン・パネルジー
(インド・グジャラート)
地区ガバナー:石本隆太郎 (新潟RC)

三条北RC会長:星野 義男
三条北RC幹事:石川 一昭
三条北RCSAA:丸山 勝

■出席状況

- ・本日の出席:70名中41名
- ・先々週の出席率:70名中53名
75. 71% (前年同期71. 01%)

■本日の行事:

「会長エレクト研修報告会」

■先週のメイクアップ:(敬称略)

2月22日三条RCへ 石川勝行
山中 正、山崎 勲
石黒隆夫、阿部勝子
24日社会奉仕委員会セミナー
(長岡) 金子太郎
24日 GSE メンバー受け入れ会議
星野義男、大野新吉
25日エレクト研修(長岡)
早川龍雄、中條耕二
27日三条南RC 石川勝行
28日親睦活動委員会
外山裕一、石丸 進
本田芳久、羽賀一真
渡辺 徹



会長挨拶: 斎藤 正副会長



星野会長は風邪で体調が思わしくないということ
で休みですので代わりに挨拶します。

今日の例会行事は早川会長エレクトによる
“P E T S” プレジデントエレクトトレーニング
セミナー [会長エレクト研修会報告会] です。
いよいよ早川年度に向けてのスタートの一步です。

研修会では県内57クラブの会長幹事が一堂に会して、新年度
に向けて発表されたR I 会長としてのテーマ、国際ロータリー
の新プログラム、さらにガバナーエレクトのターゲットを基に
クラブ運営の勉強会です。この後5月20日の会長、幹事各委
員会委員長、新会員を義務出席とする地区協議会が開催されそ
れぞれ委員会に分かれての勉強会がなされます。

二つの勉強会を経て北クラブでは家庭会合が開かれ、会長の新
年度でのクラブ運営方針、委員会の取り組む活動等が話し合わ
れ、早川年度(7月1日~)が正式にスタートしてゆきます。
早川年度が楽しい年度になるよう、いささか早い様な気もしま
すが互いに協力してゆきたいものです。

幹事報告: 石川一昭幹事



- ・鈴木ガバナーエレクトより
エレクト研修出席のお礼
- ・映画「エクセル・お菓子放浪記」上映実行委員会より
実行委員会参加のお願い
- ・三条市市民活動支援センターより
「三条まちなかトークライブ2」参加のお願い
日時 平成24年3月4日(日) 13:00~
会場 三条東公民館

2012-13 年度第 2560 地区バッヂ

◆火焰土器:日本人が縄文の太古から育んできた「自然との共生」
や「互いを思いやり助け合ってきた」誇るべき日本文化を蘇ら
せたい。そのためのシンボルを火焰土器としました。新潟県は
「火焰土器のクニ」とも言われています。

◆不死鳥(フェニックス):いかなる困難にもめげず「未来に向
け、力強く凜として前向きに」進んでゆきた
いという思いを込めました。



■ロータリ財団BOX：28日現在累計372,000円

■米山奨学BOX：28日現在累計300,000円

樋口 金占君 BOXに協力
浅間 一洋君 〃
山崎 勲君 〃
石川 一昭君 米山委員長に協力!!
青木 省一君 BOXに協力
米山 忠俊君 春はすぐそこまで来ています。体がうずきます。

■ニコニコBOX：28日現在累計692,000円

吉田 文彦君 今年の雪もそろそろ峠を越した様です。連日の除雪と昨年からの五十肩でさんざんな冬でした。
石川 一昭君 漸く太陽が顔を出し春が近づいて来ている予感がします。
春よこいこい!! 早くこい!!
渋谷 義徳君 やっと鼻水と咳が止まって平常に戻りました。
柄沢 憲司君 ボックスに協力
駒形 実君 〃
丸山 勝君 〃
落合 益夫君 ニコニコにご協力ありがとうございます。
岡田 健君 BOXに協力

本日の行事：「クラブ会長エレクト研修セミナー」 報告会

早川瀧雄会長エレクト

2月25日（土） 会場：長岡グランドホテル

4年前、石川勝行会長の時に幹事としてエレクト研修に参加しましたが、当時は幹事で付録のような気分で余り熱心に聞いていませんでした。これではまずいと思い、今回はじっくり聞いてきたつもりですが、殆ど耳に残っていません。

市内4RC会長幹事、馬場パストガバナー、中條パストガバナーと一緒にきましたが、当クラブの坂内幹事が体調を崩し、急遽参加できませんでした。

RI会長田中作次氏は日本から3番目のRI会長です。栃尾市の出身です。

RI 2012-2013年度テーマ“奉仕を通じて 平和を”
鈴木ガバナーエレクトは昭和25年生まれ61才のバイタリティーある方です。昨年のIMで講演されているのでご存じだと思いますが、災害対策にも積極的に取り組んでおられます。

地区方針“恕の心を以て・奉仕を通じて平和を”——脚下照顧して明日へ繋げよう——

このターゲットには「超我の奉仕」の姿が宿り、「最もよく奉仕する者は最も多く報われる」という意味が実感できると確信しています。とされました。

各委員会の方針等の発表もありましたが、地区協議会で詳しい説明があると思いますので今回は省略します。



今回の資料の中にR I 会長田中作次氏の「ロータリー・クラブ強化への 100 のヒント」が掲載されていまして皆さんに配布しました。是非、目を通して頂き、クラブ活性化にご協力頂きたいと思います。

予定されている行事

5月20日(日) 地区協議会 : 9月4日(火) 鈴木ガバナー公式訪問

9月29日(土) 第四分区IM : 10月11日(木) 地区親善ゴルフ大会

11月18日(日) 地区大会

一緒に出席されていた、中條パストガバナーからも一言お願いしたいと思います。

田中作治会長エレクトメッセージの概要

■「平和」をどのように定義するにせよ、ロータリーの究極であり、しかも実現可能な目標であることを理解して欲しい。

■平和は、協定や、政府や、大胆な闘争だけで達成するものではなく、日常の簡単な方法の積み重ねによって成し遂げるものである。・・・自身の人生観を通して。

■また「ロータリーにおいて奉仕とは片手間にすることでも、たまに取り組んでみるのではなく、生き方そのものであって、思いやりの心(恕の心)を重んじることであり、調和へ至る道である。

■あらゆる場面において奉仕を実践することによって、分かち合いの精神をはぐくみ、友好を見出し、その先には「平和」の道が開かれる。



中條耕二パストガバナー (地区R財団委員長)



次週の例会は「識字率向上月間」でチャーリーさんとい方から、卓話をして頂きます。彼は私どものも同級生の娘さんと結婚しており、今は高田に住んでいます。彼は日本語も堪能で、海外に2度ほど同行して通訳もしてもらいました。登校拒否の人たちの為のフリースクールを開校しておられて、上越では大事な人だそうです。その辺のお話をして頂きますので多数の方の出席をお願いします。ペッツでは幹事会の分科会で会員増強について話をさせられました。三条北RCは4番目です。新潟RC87名、新発田RC80名、新潟南RC75名で次が当クラブでした(12月末現在)

上場会社の経営者が2名、在籍されていてこんなに充実したクラブは無いと思っております。三条4クラブの中ではトップです。

星野会長は今日欠席ですが、星野会長は年度目標で県内トップにしたいと行っておられましたが、R財団に於いては今の処、総額ではトップです。一人当たりにおいても是非トップを狙って頂きたいと思います。米山奨学も是非お願いします。

20年前の栗山ガバナー年度の新潟RCは139名でした。このように会員が減少している中で現在ベスト10のクラブで唯一増えているのは三条北RCです。

女性会員についてですが、女性は太陽だと言う話を早川さんと一緒に聞いてきましたが、女性会員を増やそうという事でした。

女性会員が多いのは越後春日山RC45名中12名です。現在地区内では139名の女性会員が在籍しています。是非女性会員を増やして頂きたいと思います。

GSEメンバー受け入れでは下村さんのところに男性2名がお世話になりますが、このように諸々の活動を含めて、三条北は一番だと言うことを自慢して頂いていいと思います。

早川さんに、会長としての悩みは無いのかと聞きましたら「29代の会長を私が決めなければならない。30代はみんなで決めることになっているが・・・」これが悩みだと言っておられましたが、いい悩みだと思います。早川さんの次は丸山 勝さんが決まっていますが、29代会長を盛り上げて30周年を迎えたいと思います。それまで天の国には行かずに頑張りたいと思っています。ロータリーは立候補制です。29代会長に立候補して頂きたいと思います。

私の今の悩みは次のガバナーを決めることです。地区のガバナー指名委員長を仰せつかっております。鈴木ガバナーの次は中条RCの山崎堅輔氏が決まっています。次のガバナーを検討中です。決まってくれば、私の悩みも無くなります。

6月で財団委員長もお役ご免になります。

健康年齢を考えて過ごしたいと思います。皆さんもどうか健康で益々仲良く素晴らしいクラブにして頂きたいと思っています。早川年度を盛り上げて頂くことをお願いして終わらせて頂きます。ありがとうございました。

3月のお祝い

誕 生 日			結 婚 記 念 日					
会 員			ご 夫 人					
岡田 健	3		武田 水江	1	木宮 隆・康	1	高橋研一・米子	1 4
山上 茂夫	7		木宮 康	5	本間建雄美・絹枝	2	樋口 勤・ミヨ子	2 0
中條 耕二	3 0		石黒佳代子	1 4	馬場直次郎・美恵子	5	石川勝行・千鶴	2 1
大野 新吉	3 0		佐藤奈緒子	1 6	石川 友意・みや子	6	外山晴一・真智代	2 6
山崎 勲	3 1		西村智恵子	2 0	山上 茂夫・和子	7	山中 正・信子	2 6
			大野 勝子	2 3	渡辺 徹・育代	1 1	渋谷義徳・朋子	2 6
			大橋 和子	2 4	石川 一昭・純子	1 3	石黒隆夫・佳代子	2 7

会員の声

平成 24 年 2 月 14 日

『社格』

アークランドサカモト株式会社
代表取締役社長 坂本 勝司

『人づくりこそ企業づくり 関わりあうすべての人たちと 夢と幸
せのわかちあい』

これが、当社の経営理念である。言うまでもなく、会社の経営資源で最も大事な経営資源は「人」である。どんなによい「商品」や「設備」、「店舗」があろうと、どんなに「資金」があろうと、どんなにいい「情報」があろうと、それらを使いこなせる有能な「人」を育てなければ、企業の成長、継続、発展はないと考えている。

そして最近、会社の格、「社格」を上げたいと強く感じている。大学生の就職人気企業ランキングの上位企業、例えば、三菱東京 UFJ や三菱商事、本田技研、サントリーなどとは天と地の差があるであろう。

会社の業容を拡大するに従い、戦う相手が違ってくる。より強い、より優秀な相手との戦いになる。「社格」を上げなければ戦えない。数字を積み重ねたり、足していくだけでは難しい。「社格」を上げることはできない。日本のトップを走る企業と、天と地ほどある差をどこまで埋めていけるのか。

幹部社員が、業務遂行能力、知識、経験に加え、率先垂範で自己の人格を磨き、会社の業容拡大を支えるにふさわしい人間となることで、その部下の能力、人格をも引き上げていく。社員の「格」を上げることによってしか、会社としての「格」を上げることはできない。

当社の新しい期のスタートに際して、社員の「格」を上げる『人づくり』という原点に帰って、将来の飛躍を期したい。